

平成25年度第1回美術館協議会次第

日時 平成25年9月2日(月) 13時30分～

会場 県立美術館 総合実習室

開会

1 委嘱状交付

2 県教育次長あいさつ

3 会長あいさつ

4 館長あいさつ

5 議事

(1) 平成24年度事業報告等について

(2) 平成25年度事業等について

(3) 平成26年度に向けて

(4) その他

閉会

山梨県立美術館協議会資料

平成25年9月2日(月)

山梨県立美術館

目次	ページ
<u>山梨県立美術館協議会名簿</u>	1
<u>山梨県附属機関の設置に関する条例 他</u>	2
<u>山梨県立美術館組織図</u>	4
<u>指定管理者組織図</u>	5
<u>山梨県立美術館活動報告(概要)</u>	6
<u>観覧者数の推移</u>	7
<u>施設利用者の状況</u>	8
<u>特別展等一覧</u>	9
<u>教育課程の実施状況について</u>	10
<u>指定管理者活動報告</u>	16
<u>指定管理について</u>	19

山梨県立美術館協議会委員名簿

任期:平成24年10月1日～平成26年9月30日

区分	氏名	役職	出身分野(勤務先等)
委嘱	堀内 研司	山梨県市町村教育委員会連合会代表	社会教育関係 (富士吉田市教育委員)
"	宇野 五千雄	山梨県社会教育委員連絡協議会代表	社会教育関係 (笛吹市社会教育委員)
"	秋山 弘	ミュージアム甲斐・ネットワーク(美術)代表	学識経験者 (春仙美術館事務局長)
"	鶴田 一香	山梨県文化協会連合会代表	学識経験者 (山梨県文化協会連合会会長)
"	古屋 知子	山梨県立美術館協力会代表	学識経験者 (山梨県立美術館協力会代表)
"	須田 國生	山梨県美術協会代表	学識経験者 (山梨県美術協会代表)
"	大村 智	山梨県総合理工学研究機構代表	学識経験者 (山梨県総合理工学研究機構御代顧問)
"	野口 英一	報道関係	学識経験者 (山梨放送・山梨日日新聞社社長)
"	金丸 康信	報道関係	学識経験者 (テレビ山梨代表取締役社長)
"	堀田 一朗	報道関係	学識経験者 (NHK甲府放送局局長)
"	植松 増美	企業関係	学識経験者 (アサヒビール株式会社名誉顧問)
"	甲斐 陽子	公募委員	家庭教育関係者 (主婦)
"	佐々木 晶美	公募委員	家庭教育関係者 (主婦)
任命	齊藤 文栄	山梨県公立小中学校長会代表	学校教育関係 (笛吹市立一宮北小学校校長)
"	阿部 邦彦	山梨県高等学校長協会代表	学校教育関係 (県立甲府昭和高等学校校長)

○山梨県附属機関の設置に関する条例（抜粋）

（趣旨）

第一条 この条例は、法令又は他の条例に別に定めのあるものを除くほか、地方自治法(昭和二十二年法律第六十七号)第百三十八条の四第三項に規定する附属機関に関し、必要な事項を定めるものとする。

（附属機関の設置及び担当事務）

第二条 知事の附属機関として、次に掲げる機関を設置する。

（略）

2 教育委員会の附属機関として、次に掲げる機関を設置する。

（略）

山梨県立美術館協議会

山梨県考古博物館協議会

山梨県地方産業教育審議会

山梨県文学館協議会

（組織）

第四条 附属機関は、別表第一、別表第二及び別表第三の委員の定数欄に掲げる数の委員で組織する。

2 委員は、別表第一、別表第二、別表第三及び別表第四の委員の要件欄に掲げる者のうちから、知事(教育委員会の附属機関にあっては、教育委員会。以下同じ。)が任命し、又は委嘱する。

3 委員の任期は、別表第一、別表第二、別表第三及び別表第四の委員の任期欄に掲げるとおりとする。(会長等)

第五条 附属機関に、規則で定めるところにより、会長又は委員長(以下「会長」と総称する。)及び副会長又は副委員長(以下「副会長」と総称する。)を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によりこれを定める。

3 会長は、会務を総理し、附属機関を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

5 副会長が置かれていない附属機関にあつては、会長に事故があるときは、あらかじめ会長の指名する委員が、その職務を代理する。

（会議）

第六条 附属機関の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 会議は、規則で定める場合を除くほか、委員の二分の一以上が出席しなければ、開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（委任）

第八条 この条例に定めるもののほか、附属機関の担当事務、組織及び運営等に関し必要な事項は、規則で定める。

別表第一(第二条、第四条関係)

二 教育委員会の附属機関

附属機関	担当事務	委員の定数	委員の要件	委員の任期
山梨県立美術館協議会	博物館法(昭和二十六年法律第二百八十五号)第二十条第二項の規定による山梨県立美術館の運営に関する事項の調査審議及び意見の具申に関する事務	十五人以上	一 学校教育の関係者 二 社会教育の関係者 三 家庭教育の向上に資する活動を行う者 四 学識経験のある者	二年

○山梨県附属機関の設置に関する条例施行規則（抜粋）

（趣旨）

第一条 この規則は、山梨県附属機関の設置に関する条例（昭和六十年山梨県条例第三号。以下「条例」という。）の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

（補欠委員の任期）

第三条 委員に欠員を生じた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（平六教委規則二・旧第二条線下）

（会長及び副会長）

第四条 条例第五条第一項の規定により、附属機関に会長及び副会長一人を置く。

（定足数の特例）

第五条 条例第六条第二項の規則で定める場合は、次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議について、同表の定足数欄に掲げる数の委員が出席しなければ開くことができない場合とする。

附属機関	定足数
山梨県高等学校入学選抜制度審議会	過半数
山梨県へき地等教育振興審議会	過半数
山梨県立美術館協議会	過半数
山梨県考古博物館協議会	過半数
山梨県文学館協議会	過半数
山梨県地方産業教育審議会	過半数
山梨県スポーツ振興審議会	過半数

（定例会及び臨時会）

第十二条 次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議は、定例会及び臨時会とし、定例会の開催回数は、同表の開催回数欄に掲げるとおりとする。

附属機関	開催回数
山梨県立美術館協議会	年二回
山梨県考古博物館協議会	年二回
山梨県文学館協議会	年二回

2 前項に規定する臨時会は、必要に応じて開催する。

（昭六一教委規則一・旧第十一条線下、平元教委規則五・一部改正）

（庶務）

第十三条 附属機関の庶務は、次の表の所属欄に掲げる所属において処理

附属機関	所属
山梨県図書館協議会	図書館
山梨県高等学校入学選抜制度審議会	高校教育課
山梨県へき地等教育振興審議会	義務教育課
山梨県特別支援教育振興審議会	高校教育課
山梨県立美術館協議会	美術館
山梨県考古博物館協議会	考古博物館
山梨県文学館協議会	文学館
山梨県地方産業教育審議会	高校教育課
山梨県スポーツ振興審議会	スポーツ健康課

（昭六一教委規則一・旧第十二条線下・一部改正、昭六三教委規則七・平元教委規則三・平六教委規則二・平八教委規則四・平九教委規則八・平一九教委規則三・（委任）

第十四条 この規則に定めるもののほか、附属機関の組織及び運営に関し必要な事、当該附属機関に諮って定める。

○博物館法（抜粋）

（博物館協議会）

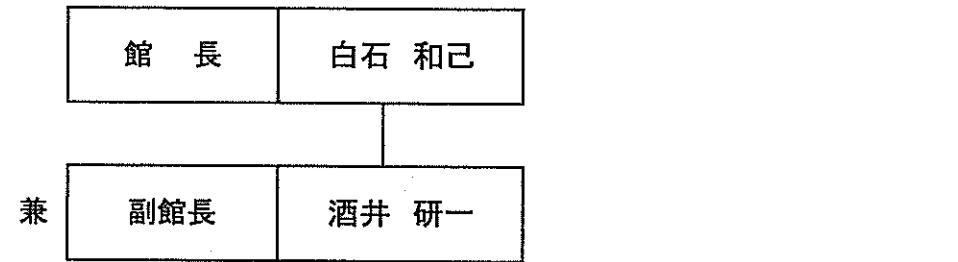
第二十条 公立博物館に、博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

第二十一条 博物館協議会の委員は、当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。

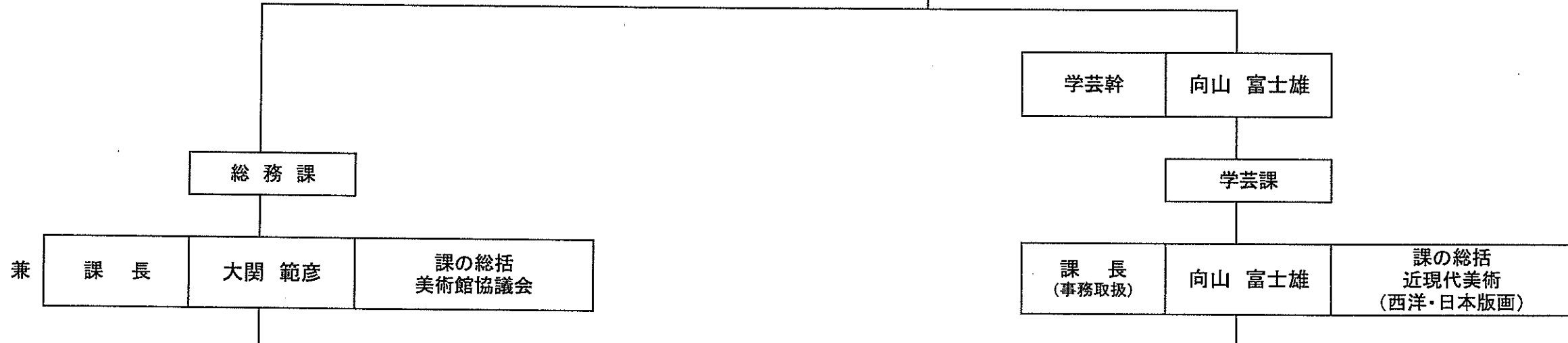
第二十二条 博物館協議会の設置、その委員の任命の基準、定数及び任期その他博物館協議会に関し必要な事項は、当該博物館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。この場合において、委員の任命の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

美術館組織図



所属名	県立美術館			
	正規職員	非常勤嘱託職員	臨時職員	計
	14	5	0	19
	兼(5)	兼(1)		兼(6)

兼は文学館との兼務 内数



兼	課長	大関 範彦	課の総括 美術館協議会
---	----	-------	----------------

職名	氏名	主たる業務	
兼	リーダー 主査	名取 浩樹	担当の総括 予算管理
兼	主事	丸山 衛嗣	会計・経理
兼	主事	疋田 舞夢	会計・経理 旅費・福利
兼	非常勤 嘱託	小尾 祐子	職員給与等 共済組合、互助会

※副館長及び総務課職員は、美術館と兼務

学芸担当

職名	氏名	主たる業務	
兼	リーダー 学芸員	井澤 英理子	担当の総括 日本美術
	学芸員	高野 早代子	県関係作家 作品保存管理
	学芸員	平林 彰	日本画
	学芸員	太田 智子	近・現代美術 西洋美術(ミレー・バルビゾン)
	学芸員	小坂井 玲	近・現代絵画 西洋美術(ミレー・バルビゾン)
兼	学芸員	森川 もなみ	近代美術
	非常勤 嘱託	雨宮 千鶴	学芸補助
	非常勤 嘱託	伊藤 茜	学芸事務

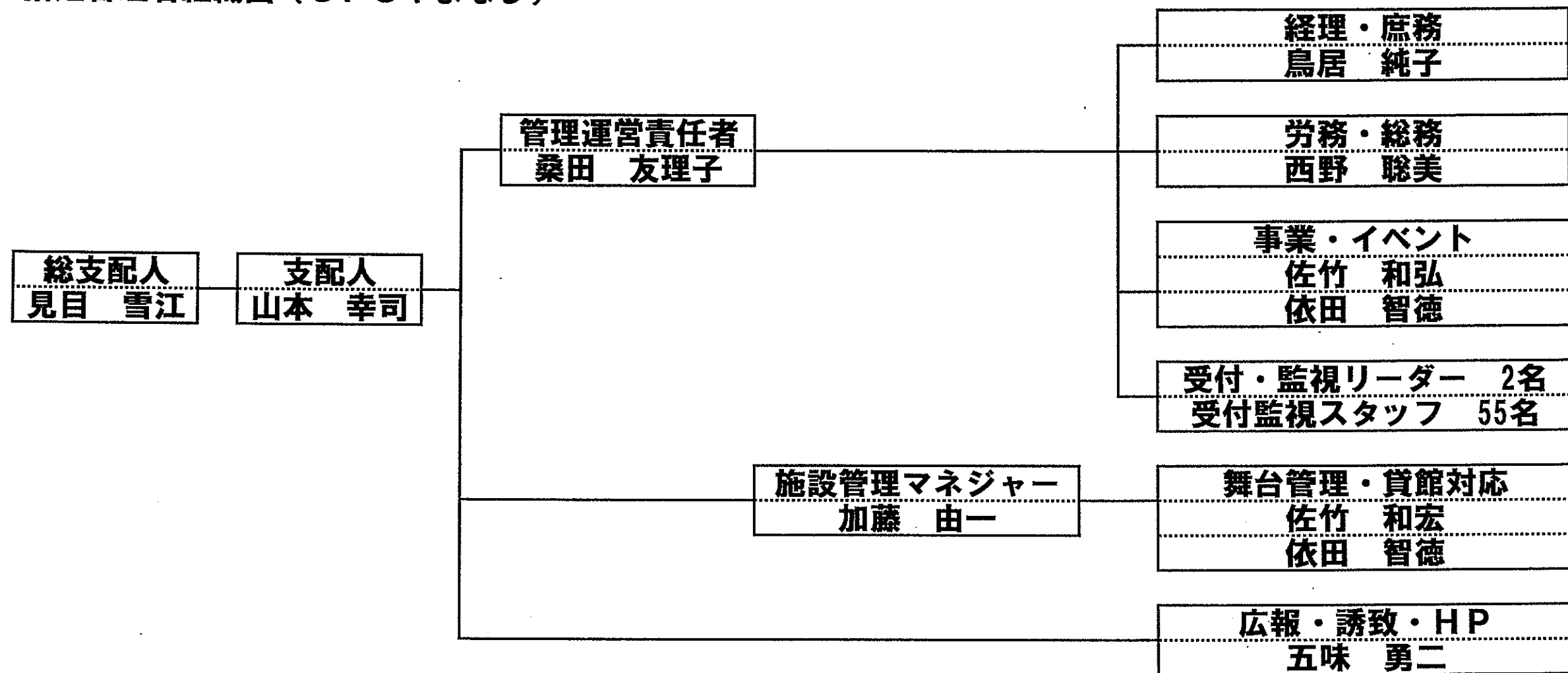
普及担当

職名	氏名	主たる業務	
	リーダー 副主幹・ 教育主事	井上 真弓	担当の総括 美術館教育
	副主査・ 教育主事	五味 一也	美術館教育
	学芸員	森川 もなみ	美術館教育
	非常勤 嘱託	露木 和雄	協力員指導

美術館協力会

職名	氏名	主たる業務	
	協力会 職員	内海 仁美	協力会経理
	協力会 職員	小杉 佳子	協力会売店

指定管理者組織図（SPSやまなし）



スタッフ9名 + 受付監視 57名 = 66名

山梨県立美術館活動報告（概要）

本館に求められるもの

県民の価値観への多様化・余暇活動への関心の高まりとともに、心の豊かさや生きがいを求め、文化活動に対するニーズも一段と幅広いものとなってきている。

このようななか、美術に関する知識・教養の向上を図り、県民文化の発展に寄与することを目的として設置されている山梨県立美術館には、

【展示／見る】幅広いジャンルでの質の高い特別展示とともに「西洋美術」「山梨ゆかりの美術」「日本の近現代美術」などの常設展示の一層の充実

【教育普及／学ぶ】生涯学習の進展や教育課程における総合学習の充実化にともなって、より多様な学習機会の提供。そして、一層の本県芸術の振興、芸術活動の場の提供 } が求められている。

【付加価値・魅力／憩う】本来の美術館機能に加え、さまざまな付加価値を充実させ、より魅力ある「憩いの場」の創造と提供

◎平成21年度からは「施設・設備管理」、「受付・監視」、「広報宣伝」の各業務を中心に指定管理制度が導入された。（平成26年4月1日より2期目の指定管理者の委託契約更新）

平成25年度上期の活動状況

【展示／見る】

〈常設展〉

◎開館以来、ジャン＝フランソワ・ミレーとバルビゾン派の作品を集中的に収集し、現在では、国内外より高評価を受けている。これを魅力として集客に努めている。

◎「ミレー館」の開設以降、集客を維持するための魅力を改めて県外にPRするための積極的な広報活動の実施（JR東日本・JR東海・山梨交通・甲府市観光協会・甲斐市観光課などとの連携）。

◎大手旅行会社との連携による旅行ツアーにより顧客確保の増進に努めた。

◎国民文化祭に呼応し、「富士の国やまなし国文祭記念事業」として3つの企画展事業を位置づけ、県外からの集客に務めた。

◎国民文化祭に関連し、「県立美術館ミレーコレクションのすべて」を、常設展示室を利用して冬のスペシャル展示として開催 平成25年1月2日（水）～3月3日（日）

〈特別展〉25年度上期は以下の展覧会を実施。

○「望月春江とその時代」 4月27日（土）～6月9日（日）

○「やまなしの美術館大全 水をめぐる旅」 6月15日（土）～9月30日（日）

○「近代自然主義絵画の成立 オランダ・ハグ派展」7月13日（土）～8月25日（日）

【教育普及／学ぶ】アートレクチャーや講座の充実を図り、より幅広い県民の参加を促進。

ワークショップ指導や実技講座ボランティアを導入し、より充実した活動へとスキルアップ。

◎県民のニーズに応じた美術館教育プログラムの作成・提供に務め、世代別・習熟度別プログラムや高齢者や障がい者への実技講座やレクチャーなどの実施。

学校教育と対応して、児童生徒への鑑賞・実技指導を実施。また、学校教師への鑑賞教育の研究助言や実技指導・美術教育に関する積極的な意見交換も行い連携を深めた。

◎美術館から職員が外に出て、様々な会場でのワークショップや授業、鑑賞研修会などを実施。

〈活動内容〉

・キッズプログラム（小中高校生対応） ・校外学習に対応し、展示室での鑑賞、実技体験及び職場体験

・学校への出前授業 ・アートボックス貸出 ・施設の貸出 ・造形広場 ・創作教室

・みんなで作る美術館（みなび展）の実施 ・教師のための鑑賞研究会 ・大人のための美術講座 ・ことぶき勸学院への協力 ・ギャラリー・トーク ・映画会

・体験実技講座（初心者・障がい者含む） ・県民ギャラリー利用者の創作活動PR支援

【付加価値・魅力／憩う】〈魅力あふれる美術館をめざして〉

〈質の高いサービス提供〉

・美術館ボランティアのスキルアップをめざして研修・学習会を実施。

〈様々な付加価値の創造〉

・地元音楽家・団体や学校現場との協働によるロビーコンサートを毎週日曜日に開催。

（ゴールデンウィーク期間中は毎日開催）（SPSやまなし）

・レストランサービスの向上をめざして運営企業と情報交換・協議。

・ミュージアム甲斐in券並びに定期観覧券所持者への割引サービス。売店、レストラン。

・首都圏からの来館者増を目的に、中央紙への広告の掲載。（SPSやまなし）

・芸術文化のまちづくりでNPOを支援＝貢川アートフェスタ後援

〈県民との円滑なリレーションシップ〉

・本美術館の特色・魅力を十分に伝えられる情報発信・積極的な広報とパブリシティの実施。

・展覧会事業を報道機関と共催、県民への情報提供の機会を大幅に増やすことができた。

・新たな集客に向け、アンケートによる調査などを積極的に取り入れ、県民ニーズの把握に努める。

【展示／見る】

・多様な来館者ニーズに応え、幅広いジャンルの特別展や魅力ある常設展を開催する。

〈常設展〉作品の保存を考慮したうえで、例えば「米倉寿人」、「山紫水明」などの幅広いテーマ作品を随時展示する。

・常設展示室（ミレー館・常設展示Ⅱ）の年4回の展示替えの実施。

平成25年度下期の活動予定

【県民目線を意識した企画】

・新たな魅力充実と集客に向け、アンケートによる調査などを積極的に取り入れ、県民ニーズの把握に努める。

【展示／見る】

・多様な来館者ニーズに応え、幅広いジャンルの特別展や魅力ある常設展を開催する。

〈常設展〉従来の展示室のイメージを一新した展示空間に心がけ、作品の保存を考慮した上で、なるべく幅広い作品を展示する。

・常設展示室（ミレー館・常設展示Ⅱ・萩原記念室）の年4回の展示替えを実施。

日本画については可能な限り季節に合わせた作品を展示する。

・学芸員それぞれの個性を生かしてテーマやコーナーを設け、特別展のようなタイトルを付け、興味を持って鑑賞してもらえるよう工夫や配慮をする。

・萩原記念室の模様替え（萩原英雄の人となりや生涯に描いた作品を主体に展示）。

〈特別展〉

・「日本のわざと美」展 重要無形文化財とそれを支える人々 9月7日（土）～10月14日（月・祝）

・「生誕100年 萩原英雄展」 10月26日（土）～12月8日（日）

・「美術館からのクリスマスプレゼント&お年玉企画展 動物ものがたり

12月14日（土）～2014年1月19日（日）

◎「新収蔵品（古い壺）を話題にしたミレー館」の魅力在前面に打ち出した集客活動の継続。「ミレーの美術館」を新たな客層を発掘しながら県内外に広くPRするための積極的な広報活動の計画の策定と実施。

常設展の新たな広報戦略（SPS、チラシの作成）。

【教育普及／学ぶ】アートレクチャーや講座の充実を図り、より幅広い県民の参加を促進。

ワークショップ指導ボランティアを導入し、より充実した活動へとスキルアップ。

県民ニーズに応じた美術館教育プログラムの作成・提供に務め、世代別・習熟度別プログラムや障がい者への実技講座なども実施していく。

教育現場と連携して、年齢ごとの学びの場として会場を提供し、キャリア教育等にも活かしていく。

学校教育と対応して、児童生徒への実技指導を実施。また、学校の教師への実技指導・美術教育に関する積極的な意見交換も行い連携を深める。

〈活動内容〉

◎「博学連携を中心とした学校・社会教育施設との連携強化」

・キッズプログラム（小中高校生対応） ・映画会 ・職場体験授業 ・校外学習への対応（オリエンテーション、展示室での鑑賞、実技体験） ・ギャラリートーク・学校への出張授業 ・アートボックス貸出

・施設の貸出 ・創作教室 ・造形広場 ・とびだせ美術館（三カ年の歩み作成、企画立案） ・教師のための鑑賞研究会 ・大人のための美術講座 ・体験実技講座（初心者・障がい者含む） ・ギャラリートーク ・県民ギャラリー利用者への活動PR支援 ・ことぶき勸学院への協力 ・ボランティアキッズ活動推進プログラム（小中学生）

◎「地域との連携強化」

・甲府市並びに甲斐市との連携の強化（あらたな連携活動のための計画策定）。

・美術館周辺校との連携（新田小学校の総合学習の時間を利用したギャラリー・トークの実施）。

【付加価値・魅力／憩う】美術館への好感度向上をめざして、さまざまな取り組みを実施。

☆質の高いサービスを提供するため、研修の強化などを行い、引き続き美術館ボランティア（案内、解説、情報etc.）のスキルアップに務める。

☆様々な付加価値の創造に継続して取り組む。

・地元音楽家・団体、学校のコーラス部との協働による週末のロビーコンサートや小イベントを継続して実施。 ・無料シャトルバスの運行 9月8日～11月24日の各日曜日と11月20日（県民の日）（SPSやまなし） ・ミュージアムショップでの楽しい買い物に向けて、魅力ある新商品の開発等を実施。

☆県民との円滑なリレーションシップを目指して、本美術館の特色・魅力をしっかりと情報発信。

・やまなしの文化情報ネットワークやノウハウを最大限活用した積極的な広報とパブリシティの実施。

・展覧会事業を報道機関とタイアップすることにより、情報提供機会を増やす。

山梨県立美術館 常設展・特別展観覧者の推移

年度	開館日数	常設展	特別展	観覧者数合計
S53	118	160,594	91,501	252,095
54	295	316,325	152,418	468,743
55	298	410,214	110,951	521,165
56	297	421,759	124,772	546,531
57	296	401,864	107,843	509,707
58	295	391,408	118,381	509,789
59	298	416,423	87,280	503,703
60	299	396,782	193,786	590,568
61	302	443,656	116,263	559,919
62	298	454,876	78,845	533,721
63	296	471,011	109,642	580,653
H1	304	408,088	71,341	479,429
2	293	409,354	69,818	479,172
3	300	379,707	162,035	541,742
4	290	359,582	155,457	515,039
5	287	320,179	97,028	417,207
6	278	270,067	79,467	349,534
7	300	262,845	71,246	334,091
8	289	276,556	86,910	363,466
9	293	202,358	53,780	256,138
10	281	266,846	167,521	434,367
11	298	176,533	89,962	266,495
12	300	149,708	84,963	234,671
13	301	122,857	65,484	188,341
14	301	166,783	131,560	298,343
15	288	90,783	43,766	134,549
16	298	115,874	83,408	199,282
17	301	100,777	50,203	150,980
18	309	96,898	35,385	132,283
19	309	99,823	64,421	164,244
20	307	112,410	85,669	198,079
21	309	117,250	57,083	174,333
22	310	98,986	61,123	160,109
23	310	103,181	84,090	187,271
24	311	120,650	67,736	188,386
25	133	43,173	30,265	73,438
計	10,392	9,156,180	3,341,403	12,497,583

月別集計数(平成24年度)

常設展

月	開館日数	観覧者数
4	26	9,094
5	27	11,748
6	27	9,951
7	27	8,256
8	28	14,126
9	27	10,216
10	27	11,142
11	28	16,121
12	24	3,415
1	26	8,576
2	24	12,082
3	20	5,923

8月まで計 135 53,175
 年度計 311 120,650

月別集計数(平成25年度)

常設展

月	開館日数	観覧者数
4	26	6,857
5	27	8,678
6	26	7,863
7	26	7,267
8	28	12,508
9		
10		
11		
12		
1		
2		
3		

計 133 43,173

75%
74%
79%
88%
89%
0%
0%
0%
0%
0%
0%

特別展 (H24年度)

展覧会名	開催日数	観覧者数
新収蔵品展	13	3,051
ローランサン	52	15,244
増田誠	63	15,770
大倉集古	41	23,442
十一屋	48	9,651
新収蔵品展	2	578

219 67,736

特別展 (H25年8月まで)

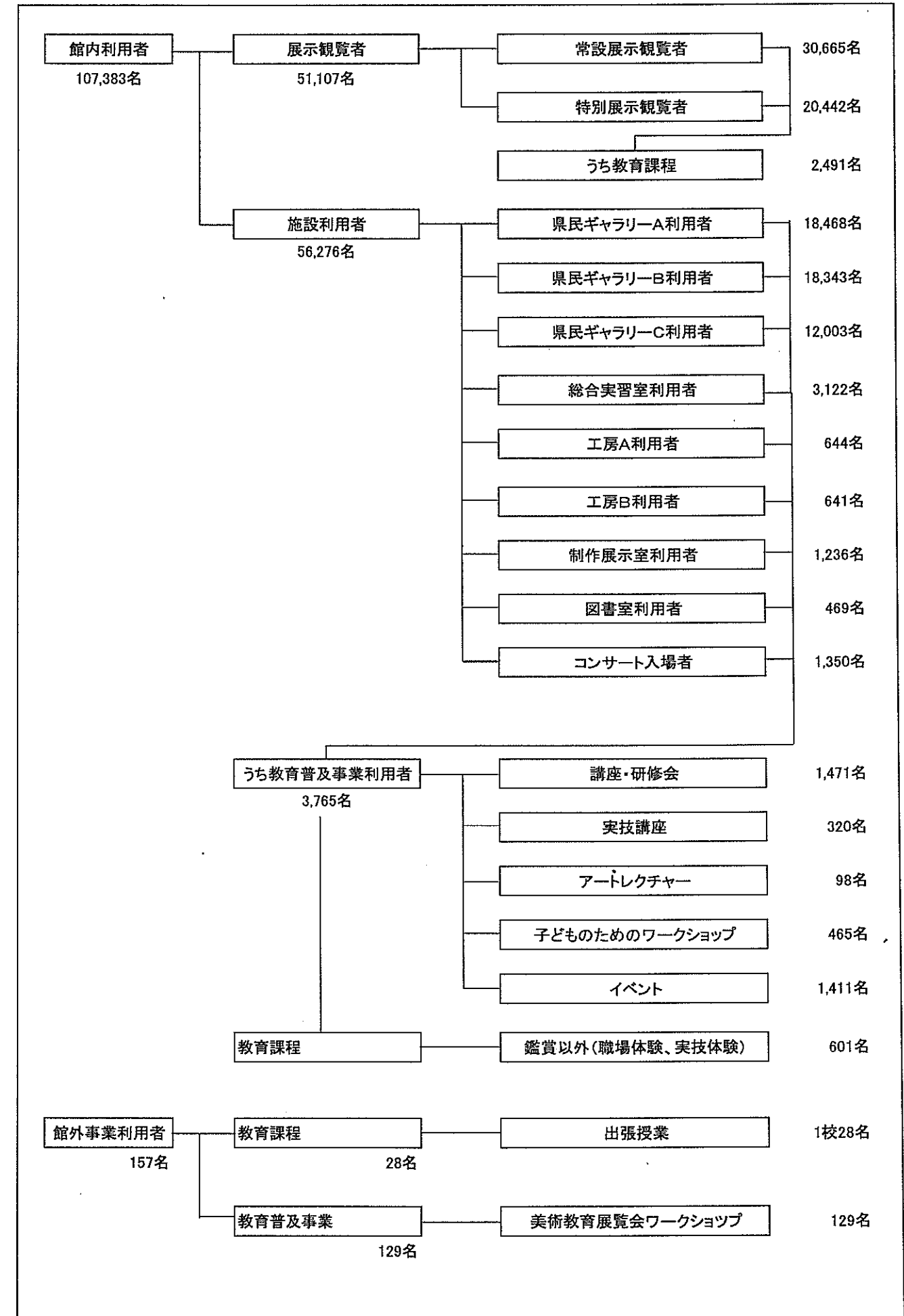
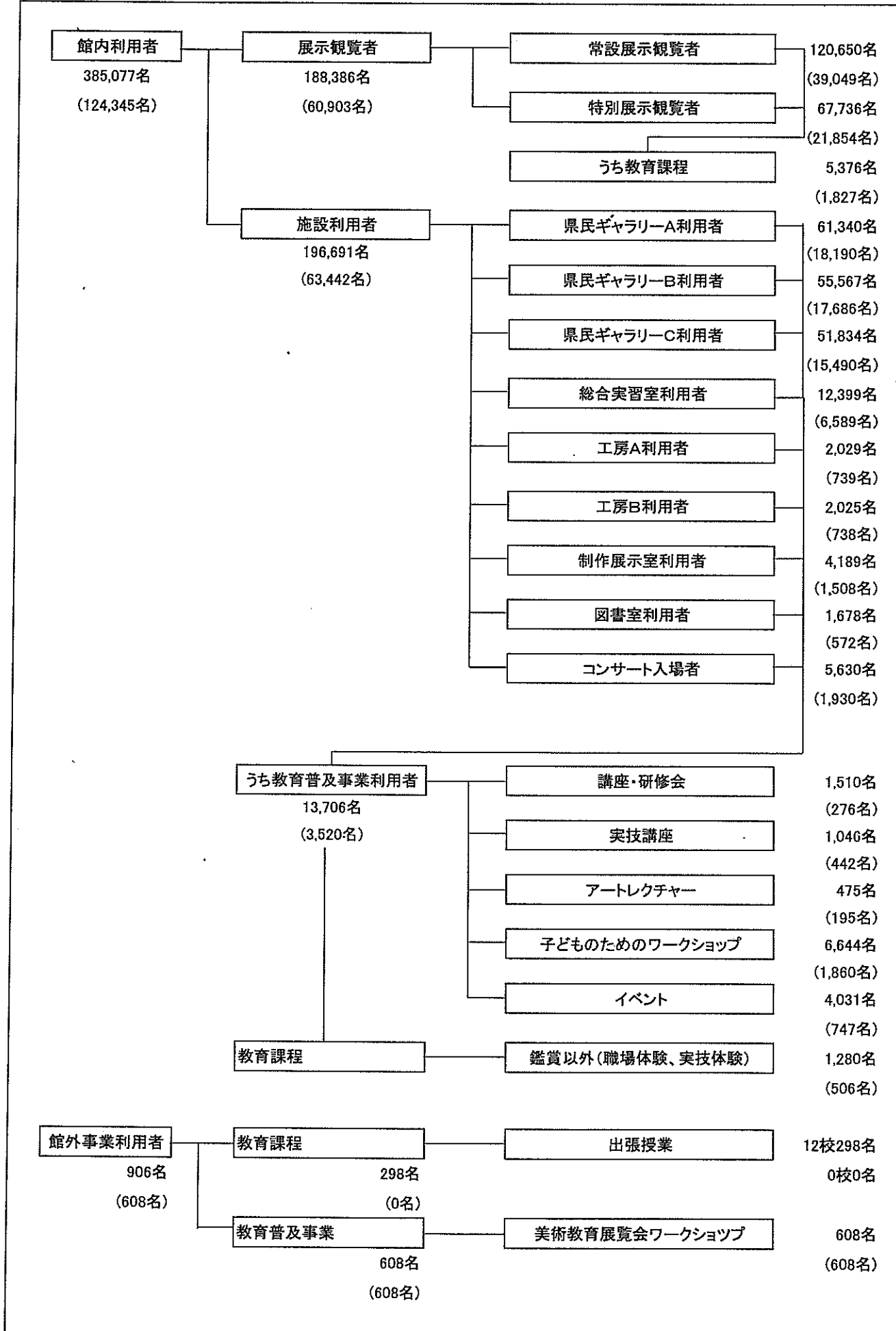
展覧会名	開催日数	観覧者数
H24新収蔵品	12	2,504
望月春江展	39	9,316
やまなしの美術館大企画Ⅱ	14	4,481
ハーグ展	39	13,964
日本のわざと美展		
生誕100年 萩原英雄展		
クリスマス&お年玉企画展		
H25年新収蔵品		

104 30,265

美術館「利用者」の状況

平成24年度実績（カッコ内は7月末実績）

平成25年7月末現在



○美術館の利用者とは、美術館の施設、提供するサービスを利用した者および美術館の事業・活動に参加したすべての対象者をいいます。

特別展名	期間	概要	観覧者数
山梨県立美術館新収蔵品展	3月30日(土) ~ 4月14日(日)	平成24年度に新たに収蔵した資料を中心に公開しました。	3,082人
富士の国やまなし国文祭記念事業 「望月春江とその時代」	4月27日(土) ~ 6月9日(日)	望月春江(1893-1979)は、甲府市に生まれ、東京美術学校(現、東京藝術大学)日本画科を首席で卒業後、第9回・10回帝展で続けて特選を果たし、一躍、その名が世に知られました。その後も帝展、文展で活躍し、昭和33年には日本芸術院賞を受賞しました。 本展は、開館して間もなく開催された望月春江展から30年以上を経て、新たに発見された作品や資料を加え、改めて春江の画業を顕彰する展覧会です。	9,316人
富士の国やまなし国文祭記念事業 やまなしの美術館大全「水をめぐる旅」	6月15日(土) ~ 6月30日(日)	山梨県には、多彩な活動をするミュージアムが各地に存在します。本展覧会には県内28館が参加し、所蔵作品を県立美術館に集結しました。展覧会期間中には、参加館のスタッフによるギャラリートークなど、関連イベントを開催し、各ミュージアムの特色を一度に楽しむことができる展覧会です。	4,481人
山梨県立美術館開館35周年記念 「近代自然主義絵画の成立 オランダ・ハーグ派展 バルビゾンへの憧れ、ゴッホの原点」	7月13日(土) ~ 8月25日(日)	19世紀初頭、フランスのバルビゾン派の活動を見ながら、オランダの首都デン・ハーグを拠点として風景画に取り組んだ「ハーグ派」と呼ばれる画家たちがいました。 本展は、当館のコレクションの中心であるバルビゾン派とつながりの深いハーグ派を紹介することにより、ヨーロッパ全体に広がった近代的な絵画思想の芽生えを展覧する展覧会です。	13,964人
富士の国やまなし国文祭記念事業 「日本のわざと美」展ー重要無形文化財とそれを支える人々ー	9月7日(土) ~ 10月14日(月)	重要無形文化財のわざと、文化財を支える技術を公開する文化庁の事業として、「人間国宝」とよばれる重要無形文化財の保持者たちの優れた「わざ」と「美」を紹介します。陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、手漉和紙など、伝統技術に裏打ちされた多様な工芸分野の美を約190点で作品で味わうことができる展覧会です。	—
富士の国やまなし国文祭記念事業 「生誕100年 萩原英雄展」	10月26日(土) ~ 12月8日(日)	萩原英雄(1913~2007)は、甲府市に生まれ、東京美術学校(現、東京藝術大学)で油絵を学んだ後、木版画の制作を始めました。木版画とともに油絵の制作も続け、数多くの作品を残しました。 本展は、作家から寄贈された約4000点の中から作品を選び出し、生誕100年を迎えた萩原英雄の軌跡を振り返る展覧会です。	—
美術館からのクリスマス・プレゼント&お年玉企画展 「動物ものがたり」	12月14日(土) ~ 1月19日(日)	絵本や物語の主人公として大活躍する動物たちを、絵本原画を展示することで紹介します。「動物図鑑」のコーナーでは、生涯動物を描き続けた絵本画家、薮内正行作品を紹介します。また「絵の中の動物たち」のコーナーでは、当館所蔵品から動物が描かれた作品を展示します。触って楽しむ、つくって楽しむ造形広場も開催します。	—
山梨県立美術館新収蔵品展	3月29日(土) ~ 4月中旬	平成25年度に新たに収蔵した資料を中心に公開します。	—

教育課程における入館者数

平成24年度

(1) 小学校

(2) 中学校

(3) 高等学校

(4) 特別支援教育

月別入館者数

地区	回数校数	人数
甲府	33	1,166
中巨	4	161
東山	4	117
笛吹	0	0
南巨	0	0
西八	0	0
北巨	5	217
南都	1	72
北都	0	0
法人	0	0
私立	4	141
県外	0	0
計	51	1,874

引率者	189
-----	-----

地区	回数校数	人数
甲府	17	238
中巨	22	371
東山	1	15
笛吹	4	55
南巨	8	146
西八	1	33
北巨	11	280
南都	4	46
北都	3	38
法人	4	9
私立	4	206
県外	0	0
計	79	1,437

引率者	72
-----	----

種別	回数校数	人数
県立	17	433
市立	0	0
私立	8	510
その他	3	378
県外	0	0
計	28	1,321

引率者	56
-----	----

種別	回数校数	人数
県立	9	61
法人	0	0
県外	0	0
計	9	61

引率者	0
-----	---

(5) その他

	団体数	人数
計	10	683

引率者	73
-----	----

月	回数	人数
4	9	210
5	32	1,003
6	13	368
7	32	375
8	17	126
9	8	476
10	14	695
11	26	1,214
12	5	125
1	7	397
2	12	719
3	2	58
計	177	5,766

引率者計	390
------	-----

職場体験	職場体験			
	中学校	高等学校	支援学校	合計
回数	25	13	0	38
参加人数	134	42	0	176

実技体験	実技体験					
	小学校	中学校	高等学校	支援学校	その他	合計
回数	24	9	2	4	0	39
参加人数	835	205	45	19	0	1,104

教育課程における入館者数

平成25年度 7月31日時点

(1) 小学校

(2) 中学校

(3) 高等学校

(4) 特別支援教育

月別入館者数

地区	回数校数	人数
甲府	12	529
中巨	0	0
東山	0	0
笛吹	0	0
南巨	1	36
西八	0	0
北巨	0	0
南都	0	0
北都	0	0
法人	0	0
私立	0	0
県外	4	314
計	17	879

地区	回数校数	人数
甲府	4	4
中巨	15	310
東山	1	9
笛吹	3	32
南巨	7	66
西八	0	0
北巨	7	105
南都	3	44
北都	2	52
法人	0	0
私立	0	0
県外	5	379
計	47	1,001

種別	回数校数	人数
県立	11	68
市立	0	0
私立	2	61
その他	0	0
県外	5	471
計	18	600

種別	回数校数	人数
県立	2	11
法人	0	0
県外	0	0
計	2	11

月	回数	人数
4	11	144
5	29	1,029
6	18	950
7	26	536
8	0	0
9	0	0
10	0	0
11	0	0
12	0	0
1	0	0
2	0	0
3	0	0
計	84	2,659

引率者	71
-----	----

引率者	0
-----	---

(5) その他

	団体数	人数
計	0	0

引率者	0
-----	---

引率者	86
-----	----

引率者	11
-----	----

引率者計	168
------	-----

職場体験	職場体験			
	中学校	高等学校	支援学校	合計
回数	12	9	0	21
参加人数	48	36	0	84

実技体験	実技体験					
	小学校	中学校	高等学校	支援学校	その他	合計
回数	8	1	0	1	0	10
参加人数	482	29	0	6	0	517

キッズ・プログラム

特別展を中心とした子ども向けのイベントです。

プログラム名	開催日時	内 容	対 象	申し込み期間
親と子のアートレクチャー 日本画を楽しもう	5月18日(土) ① 午前10:00~11:30 ② 午後 2:00~ 3:30	望月春江とその時代 日本画ってどんな絵なのでしょう。甲府市生まれの望月春江の展覧会です。新たに発見された作品や資料をくわえ、日本画の世界を楽しみます。	小学1~3年生 とその保護者 (20名程度)	4月18日 ~5月17日
あつまれ!びじゅつ探検隊 日本画を楽しもう			小学4年生 ~6年生 (20名程度)	
ぶらっとアート 「オランダ・ハーグ派」	7月20日(土) ① 午前10:00~10:40 ② 午後 2:00~ 2:40	近代自然主義絵画の成立 オランダ・ハーグ派展 ハーグ派ってどんな人たちがどんな絵をかいたの? オランダの首都デン・ハーグを拠点として風景画に取り組んだ「ハーグ派」の画家たちの世界を旅しましょう。	小学生と その家族 (各20名程度)	6月20日 ~7月19日
<p>みんなでつくる美術館! アートではっけん!つなぐー 申し込み不要</p> <p>子どもから大人までみんなで一緒に、「アートではっけん!つなぐー」をテーマに、創作活動や表現活動を行うワークショップを開催します。展覧会を人とつながりながらみんなで作ります。</p> <p>「ワークショップ」5/23~8/4の間(午後1:30~3:30) 県内各地・県立美術館 「みなび」展 7/27~8/6(県民ギャラリーC室) ワークショップは子どもから大人まで誰でも参加できます。</p> <p>○ 5月23日(木) 山梨県立美術館 ○ 6月15日(土) 山梨学院大学 ○ 6月29日(土) 山梨県立美術館 ○ 7月13日(土) 都留文科大学 ○ 7月21日(日) 甲府市銀座通り ○ 7月25日(木) 山梨県立美術館 ○ 7月27日(土) 山梨県立美術館 ○ 8月 1日(木) 山梨県立美術館 ○ 8月 4日(日) 山梨県立美術館 ○ 展覧会中、ミニワークショップも開催します。</p> <p>*場所は開催予定です。場所の変更もあります。合わせてボランティアスタッフも随時募集しております。 *参加者多数の場合、安全上参加を制限する場合があります。(定員100名程度)</p>				
夏休み ワークショップ 半日コース	8月5日(月) [美術館の休館日] 午前10:00~12:00	お休みの日の美術館。いつもと違うところを探検!ちょっとびっくりの子どもだけのワークショップ。	小学4年生 ~6年生 (20名程度)	7月7日 ~7月28日
夏休み ワークショップ	8月5日(月) [美術館の休館日] 午前10:00~ 午後3:30	ふだんは入れない収蔵庫や機械室など美術館の裏側を探検します。午前中は半日コースと一緒に、午後から学芸員の仕事の体験もします!	中学生 (20名程度) *要昼食*	7月7日 ~7月28日

キッズ・プログラム(仮) 「日本のすごい技」	10月5日(土) ① 午前10:00~11:30 ② 午後 2:00~ 3:30 *内容により時間変更する場合があります	日本のわざと美 「人間国宝」とよばれる、方々の優れた「わざ」と「美」を紹介します。どのような伝統技術が見られるか、お楽しみ。陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、手漉き和紙などいろいろな工芸作品の美しさを楽しみましょう。	小学生と その家族 (各20名程度)	9月5日 ~10月4日
親子で美術館を 楽しむ会	11月3日(日・祝) ① 午前10:00~11:30 ② 午後 2:00~ 3:30	11月3日は県立美術館のたんじょう日! 親子一緒に見学と体験で楽しくミレーの作品について学びます。	小学生と その保護者 (各30名程度)	10月3日 ~11月2日
親と子のアートレクチャー すごいぞ!版画	11月16日(土) ① 午前10:00~11:30 ② 午後 2:00~ 3:30	生誕100年 萩原英雄展 甲府市生まれの萩原英雄。東京美術学校で油絵を学んだあと、木版画の制作を始め数多くの作品を残しました。萩原英雄の作品を通して版画の美しさを楽しみましょう。	小学1~3年生 とその保護者 (20名程度)	10月16日 ~11月15日
あつまれ!びじゅつ探検隊 すごいぞ!版画			小学4年生 ~6年生 (20名程度)	
ぶらっとアート 「動物ものがたり」	1月11日(土) ① 午前10:00~10:30 ② 午後 2:00~ 2:30	動物ものがたり 絵本にはどんな動物が出てくるでしょうか。みなさんの好きな動物がどんな顔をして登場するか、わくわくしながら楽しみましょう。	小学生と その家族 (各20名程度)	12月11日 ~1月10日

特別展を中心とした子ども向けのイベントです。

- * キッズ・プログラムが変わりました。「親と子のアートレクチャー」と「あつまれびじゅつ探検隊」は同時開催いたします。小学校1~3年生は保護者と一緒に、4~6年生は子どもたちだけで、それぞれのプログラムに参加できます。プログラムは別ですが、ご兄弟で同時にお申し込みできます。
 - * 「ぶらっとアート」は特別展を小学生が家族と一緒に楽しむプログラムです。30分程度の時間で、展覧会会場でのレクチャーが中心です。
 - * 子どもクラブなどの団体で申し込む場合には、別の日程で実施することもありますので、事前にお問い合わせください。日時・内容については変更する場合があります。
- 申し込み方法 : 電話またはFAXで、プログラム名・希望の時間①か②・氏名(ふりがな)・学校名・学年・電話番号(FAXがある方はFAX番号)・参加する保護者名をお知らせください。
参加者多数の場合時間が前後します。(電話受付時間:開館日9:00~17:00)
(申し込まれた方の個人情報、本事業のみを利用目的とし、当館で適切に管理します。)

問い合わせ先 〒400-0065 甲府市貢川1-4-27
山梨県立美術館「キッズ・プログラム」係 Tel. 055-228-3322 Fax. 055-228-3324

美術体験・実技講座

様々な美術表現を体験しながら、美術作品の鑑賞の糸口を見つけてみませんか。初めて挑戦される方のための初心者コース、障がい者のための講座、技術を深めてみたい方には実技講座を開設します。

No.	講座名/講師	内容・期間(日時)	申込期間
1	現代美術 「山梨の自然と暮らす」 作家: 団野雅子	山梨の自然を改めて考えて感じながら作品制作をします。 期間: 4月20日(土)～27日(土) 材料費約1,000円 作家指導日: 4月20日(土)・27日(土) 午前10:00～午後4:00	4月2日～8日
2	版画 〔銅版画〕 初心者コース	銅版画に触れる初心者のための講座です。ドライポイントで制作します。この初心者コース受講者でNo.4の〔銅版画〕講座へ進まれる方はこの日にお申し込みください。 講座日: 5月12日(日) 午前10:00～午後3:00 材料費: 800円 * 美術館職員が指導に当たります。	4月19日～25日
3	障がい者のための講座 色で遊ぼう!	【みなび(みんなで作る美術館)】の1つです。パステルや墨を使い楽しめます。 講座日: 5月23日(木) ①午前10:00～11:30 ②午後1:30～3:00 * 美術館職員が指導に当たります。上記の①②から希望の時間を選んでください。 ご希望があれば保育園、幼稚園、特別支援学級、学校など団体で参加できます。	施設・園、学校など団体参加の場合のみ事前にご連絡ください。
4	版画 〔銅版画〕 作家: 齋藤武士	腐食銅版画を制作します。(初心者は初心者コース受講者のみ対象です。) 期間: 6月1日(土)～16日(日) 作家指導日: 6月1日(土)・2日(日)・9日(日)・16日(日) 午前10:00～午後4:00 * 材料購入希望者は5月12日(日)午後3:30～工房にて注文を受け付けます。	4月26日～5月2日
5	版画 オープン・アトリエ①前期 オープン・アトリエ①後期	版画を専門的に制作している方へ、制作の場所を提供します。銅版画講座受講生で銅版画を引き続き深めたい方は、銅版画講座の期間中にお申し込みください。 期間: 5月26日(日)～31日(金) 午前9:00～午後4:30 期間: 6月18日(火)～28日(金) 午前9:00～午後4:30 * 作家による指導はありませんが、指導員が初心者の相談にのります。	5月17日～23日
6	版画 〔リトグラフ〕 初心者コース	石版(リトグラフ)を理解する初心者のための講座です。この初心者コース受講者でNo. 8の〔リトグラフ〕講座へ進まれる方は、この日にお申し込みください。 講座日: 9月1日(日) 午前10:00～午後3:00 材料費800円 * 美術館職員が指導に当たります。	8月15日～21日
7	絵画 〔デッサン〕 初心者コース	物の形・見方などを静物デッサンを通して学ぶ初心者のための講座です。 講座日: 9月19日(木) ①午前9:30～12:30 ②午後1:30～4:30 * 美術館職員が指導に当たります。上記の①②から希望の時間を選んでください。	9月3日～9日
8	版画 〔リトグラフ〕 作家: 遠藤竜太	リトグラフの技術を深めていきます。(初心者は初心者コース受講者のみ対象です。)経験者は作家指導の前の週9月22日から自主制作を行ってください。オープン・アトリエ②に申し込む必要はありません。 期間: 9月22日(日)～10月6日(日) 作家指導日: 9月28日(土)・29日(日)・10月5日(土)・6日(日) 午前10:00～午後4:00 * 材料購入希望者は9月1日(日)午後3:30～工房にて注文を受け付けます。	8月21日～27日
9	版画 オープン・アトリエ②前期 オープン・アトリエ②後期	版画を専門的に制作している方へ、制作の場所を提供します。リトグラフ講座へ申し込まれた方は、オープン・アトリエ②を申し込む必要はありません。 期間: 9月22日(日)～9月27日(金) 午前9:00～午後4:30 期間: 10月8日(火)～10月31日(木) 午前9:00～午後4:30 * 作家による指導はありませんが、指導員が初心者の相談にのります。	9月13日～19日
10	絵画 〔日本画〕初心者コース 作家: 目黒祥元	日本画はどのような材料を使って描くのでしょうか。日本画の初歩を学びます。この初心者コース受講者でNo.11の〔日本画〕へ進まれる方は、この日にお申し込みください。 作家指導日: 11月10日(日) 午前10:00～午後4:00 材料費800円	10月25日～31日

11	絵画 〔日本画〕 作家: 目黒祥元	時間をかけ制作し作品を完成させます。(初心者は初心者コース受講者のみ対象です。) 期間: 11月17日(日)～12月1日(日) 作家指導日: 11月17日(日)・23日(土・祝)・24日(日)・12月1日(日) 午前10:00～午後4:00 * 材料購入希望者は11月10日(日)午後4:00～工房にて注文を受けます。	10月25日～31日
12	障がい者のための講座 モノタイプ版画で遊ぼう!	手軽に誰でもできる版画です。いろいろな色や形を楽しみましょう。 講座日: 11月21日(木) ①午前10:00～11:30 ②午後1:30～3:00 * 美術館職員が指導に当たります。 ご希望があれば保育園、幼稚園、特別支援学級、学校など団体で参加できます。	施設・園、学校など団体参加の場合のみ事前にご連絡ください。
13	絵画 〔油彩画〕 初心者コース	油絵を初めて体験する方のための講座です。この初心者コース受講者でNo.14の〔油彩画〕講座へ進まれる方はこの日にお申し込みください。 講座日: 12月22日(日) 午前10:00～午後3:30 材料費500円 * 美術館職員が指導に当たります。	12月8日～14日
14	絵画 〔油彩画〕 作家: 加島 査	作家の制作に対する考えをうかがいながら、技法の指導を受け制作します。(初心者は初心者コース受講者のみ対象です。) 期間: 1月19日(日)～2月9日(日) 作家指導日: 1月19日(日)・26日(日)・2月2日(日)・9日(日) 午前10:00～午後4:00	12月20日～26日
15	オープン・アトリエ (版画以外)	油彩、水彩、日本画、デッサン、彫刻など、自由に制作できる場所を提供します。 期間: 2月11日(火・祝)～3月9日(日) 午前9:00～午後4:30 * 作家による指導はありません。	2月2日～9日

注意事項

- ★中学生以上対象。定員は約20名。初めて講座を受けられる方が優先です。
- 初めての方が多数の場合は、申込期間内に受け付けた方から抽選させていただきます。
- ★障がい者のための講座受講希望者は申し込みの必要はありません。特別に配慮の必要な障がいをおもちの方や、施設、園、学校など団体で参加される場合のみ事前にご連絡ください。
- ★全くの初心者、ちょっと経験してみたいという方は、初心者コースをご利用ください。
- ★作家指導日に欠席がわかっている方は申し込みをご遠慮ください。また、遅刻早退無しが前提です。
- ★基本的に講座期間中は休館日を除いて、毎日午前9:30から午後4:30まで自主制作することが出来ます。
- ★受講料は無料です。ただし、初心者コースなど別途材料費を必要とする講座もあります。
- ★必要な用具・材料は通知(返信はがき)をご覧になり、各自ご用意ください。(初心者コースは、美術館ですべて準備します)
- ★版画オープン・アトリエをご利用の方は、インク、薬品等の共用品代が必要になります。別途お知らせします。
- ★講座終了日には大掃除がありますのでご協力ください。

申し込み方法

往復はがきでお申し込みください。
往信面に ①講座名 ②〒・住所 ③氏名・年齢(学生の場合は学校名・学年)
④電話番号(FAX番号も) ⑤経験の有無を記入してください。
返信面には申込者の〒・住所・氏名を必ず記入してください。
※申し込まれた方の個人情報、本事業のみを目的とし、当館で適切に管理します。

申し込み先

山梨県立美術館 「美術体験・実技講座」係
〒400-0065 甲府市貢川1-4-27
TEL 055-228-3322(代表) Fax 055-228-3418(学芸課直通)

教師のための鑑賞研究会

	展覧会名 (会期)	鑑賞研究会開催日時
1	望月春江とその時代 望月春江は、甲府市に生まれ、東京美術学校日本画科を主席で卒業後、第9回・10回帝展で続けて特選を果たして一躍、その名が世に知られました。その後も帝展、文展で活躍、昭和33年には日本芸術院賞を受賞しました。本展では、開館して間もなく開催された展覧会から30年以上を経て、新たに発見された作品や資料を加えて改めて春江の画業を紹介します。 (4月27日～6月8日)	5月16日(木) 午後4時～
2	近代自然主義絵画の成立 オランダ・ハーグ派展 19世紀初頭、フランスのバルビゾン派の活動を見ながら、オランダの首都デン・ハーグを拠点として風景画に取り組んだ「ハーグ派」と呼ばれる画家たち。バルビゾン派とつながりの深いハーグ派を紹介することにより、ヨーロッパ全体に広がった近代的な絵画思想の芽生えを展開します。(7月13日～8月25日)	8月1日(木) 午前10時～
3	日本のわざと美展 —重要無形文化財とそれを支える人々— 重要無形文化財のわざと、文化財を支える技術を公開する文化庁の事業として、「人間国宝」とよばれる、重要文化財の保持者たちの優れた「わざ」と「美」を紹介します。陶芸、染色、漆芸、金工、木竹工、人形、手漉和紙など、伝統技術に裏打ちされた多様な工芸分野の美を、約190点の作品で味わう事が出来ます。 (9月7日～10月14日)	10月1日(火) 午後4時～
4	生誕100年 萩原英雄展 萩原英雄は甲府市に生まれ、東京美術学校で油絵を学んだ後、木版画の制作を始めました。木版画とともに油絵の制作も続け、数多くの作品を残しました。本展では、作家から寄贈された約4000点の中から作品を選び出し、生誕100年を迎えた萩原英雄の軌跡を振り返ります。(10月26日～12月8日)	11月9日(土) 午前10時～
5	美術館からのクリスマス・プレゼント&お年玉企画展 「動物ものがたり」 絵本や物語の主人公として大活躍する動物たちを、絵本原画や当館所蔵品を展示することで紹介します。「動物図鑑」のコーナーでは、生涯動物を描き続けた絵本作家、薮内正幸を紹介します。また「絵の中の動物たち」のコーナーでは、当館所蔵品から動物が描かれた作品を展示します。(12月14日～1月19日)	1月11日(土) 午前10時～

山梨県立美術館 教育普及担当 井上 五味

Tel055-228-3258 Fax 055-228-3418

アートレクチャー及び鑑賞研究会の開催

平成25年度

山梨県立美術館

		鑑賞研究会開催日時
1	中学生(高校生)のためのアートレクチャー 学校の美術部等のために、随時特別展のアートレクチャーをします。ご希望がありましたら、ご相談下さい。	土曜日及び学校の長期休業中
2	校内研究としての鑑賞研究会 学校の研修にあわせ、鑑賞研究会を開きませんか。ご希望がありましたら、ご相談下さい。	学校の長期休業中
3	教育協議会等の研修 図工や美術の実技指導研修や鑑賞指導研修に美術館を使いませんか。	随時受け付け
4	総合的な学習の時間・校外学習・職場体験 選択の授業でも利用できます。 アートボックスをもって出前授業にいきます。 修学旅行の事前学習や版画の導入にいかがですか。	随時受け付け
5	アートボックスの貸出し 日本画・版画・テンペラ・フレスコ・パステル 油絵等本物の作家作品が入っています。 小学生用もあります。(アクリル板での色の混色あそび・衣装を着てなりきり《種をまく人》《落ち穂拾い、夏》)	随時受け付け (出前授業も行っております)

- * 上記の他、ご希望により長期休業中に研究会を計画することも可能です。
- * 美術科だけでなく、広く多くの先生方に活用していただきたいと願っています。
- * お気軽にご相談下さい。

山梨県立美術館 教育普及担当 井上 五味
Tel055-228-3258 Fax 055-228-3418

大人のための美術講座

山梨県立美術館

当館では特別展でのギャラリー・トークを実施しています。その前に、ちょっとお得な大人向けの美術講座を用意しました。講座の後、ギャラリー・トークに参加すると特別展が一層わかりやすくなります。
(本講座は無料ですが、ギャラリー・トークには特別展チケットが必要です。ただし、県内在住の65歳以上の方は無料です。)

場所：総合実習室 時間：午後1:00～1:30 申し込み不要・聴講無料

講座名	開催日時	展覧会内容
望月春江とその時代	5月11日(土)	望月春江は、甲府市に生まれ、東京美術学校日本画科を主席で卒業後、第9回・10回帝展で続けて特線を果たして一躍、その名が世に知られました。その後も帝展、文展で活躍、昭和33年には日本芸術院賞を受賞しました。本展では、開館して間もなく開催された展覧会から30年以上を経て、新たに発見された作品や資料を加えて改めて春江の画業を紹介します。
近代自然主義絵画の成立 オランダ・ハーグ派展	8月17日(土)	19世紀初頭、フランスのバルビゾン派の活動を見ながら、オランダの首都デン・ハーグを拠点として風景画に取り組んだ「ハーグ派」と呼ばれる画家たち。バルビゾン派とつながりの深いハーグ派を紹介することにより、ヨーロッパ全体に広がった近代的な絵画思想の芽生えを展覧します。
生誕100年 萩原英雄展	11月9日(土)	萩原英雄は甲府市に生まれ、東京美術学校で油絵を学んだ後、木版画の制作を始めました。木版画とともに油絵の制作も続け、数多くの作品を残しました。本展では、作家から寄贈された約4000点の中から作品を選び出し、生誕100年を迎えた萩原英雄の軌跡を振り返ります。

* 日時・内容については変更する場合があります。
* 特別展「日本のわざと美」「動物ものがたり」は、他のイベントで紹介します。

お問い合わせ

〒400-0065 甲府市貢川1-4-27
山梨県立美術館「大人のための美術講座」係
Tel. 055-228-3322 Fax. 055-228-3324

造形広場

時間 午後1:30～3:30
場所 ワークショップ室
対象 幼児・小学生
定員 先着100名程度
*時間までにお集まりください

4月13日(土)・5月11日(土)
6月8日(土)・8月10日(土)・
8月31日(土)・9月14日(土)
10月19日(土)・11月9日(土)・12月14日(土)
1月18日(土)・2月15日(土)・3月8日(土)

リサイクル品を中心に物の仕組みについて学びながら作品をつくります。
(前月にテーマが決まります。)

申し込みが必要です。
詳細は各創作教室の事前
のチラシをご覧ください。

創作教室

■12月21日(土) 「動物ものがたり」

みんな大好き！かわいい動物たちが美術館に第集合！
展覧会にあわせたワークショップです

■3月22日(土) 「春休みお楽しみ教室」(仮)

お問い合わせ

〒400-0065 山梨県甲府市貢川1-4-27
山梨県立美術館 造形広場・創作教室係
TEL 055-228-3322

指定管理者活動トピックス ～平成25年1月以降～
【1-①】来館者獲得に向けて

●文学館との連携

国民文化祭記念事業である美術館「ミレーコレクションのすべて」と文学館「至宝展」を同時に観覧いただけるよう、はじめて両館共同のチラシ・ポスターを作成。両館共通券の販売も好調に推移し(前年同時期比217%)、両展示会の集客増に貢献



1

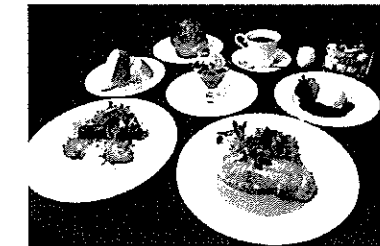
指定管理者活動トピックス ～平成25年1月以降～
【1-③】来館者獲得に向けて

●関係各所とのコラボレーション

JR東日本の「大人の休日倶楽部」を対象としたプレミアムツアーを企画提案。学芸課・協力会による解説協力のほか、指定管理者の関係性を最大限に活かし、学芸課・協力会、共同事業体の桔梗屋、サントリーグループの登美の丘ワイナリー等の協力を得て、ツアーの実現に繋がった。



JR東日本管内でオリジナルポスターやチラシが設置されるなど、展示会自体の広報にも大きく繋がった。

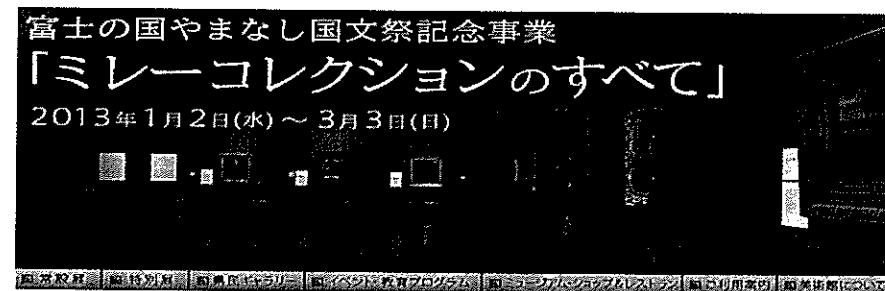


3

指定管理者活動トピックス ～平成25年1月以降～
【1-②】来館者獲得に向けて

●ホームページを活用した広報

国民文化祭記念事業「ミレーコレクションのすべて」の開催にあわせ美術館ホームページのフラッシュページを刷新。ミレー作品の全展示を大々的にPR



●ホームページを活用した広報

大作が多く迫力のある展示会であった「望月春江展」のすばらしさを知っていただくため、ホームページのお知らせページを利用して展示会のスケール感を紹介。展示会場の様子を紹介することで、展示会終盤の来館者獲得に繋がった

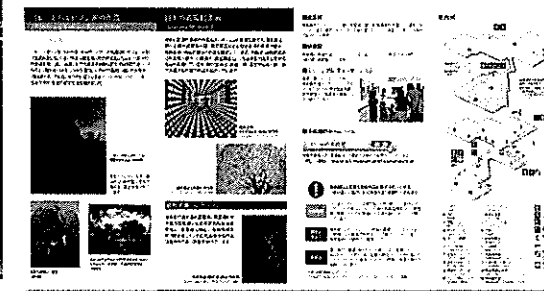


2

指定管理者活動トピックス ～平成25年1月以降～
【1-④】来館者獲得に向けて

●ミレーの美術館のPR

美術館のパンフレットとして活用している美術館ガイドを刷新。美術館のイメージを視覚でも定着させるため、ホームページやチラシと同様のデザインに変更。また、分かりやすい内容へ改訂すると共に、持ち運びに便利な大きさに変更することで、手にとってもらえる機会を増やした。



旧ガイド: 月平均1,431部配布
新ガイド: 月平均4,337部配布
⇒配布数は約3倍に増加



4

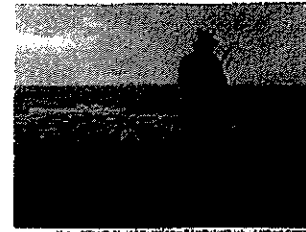
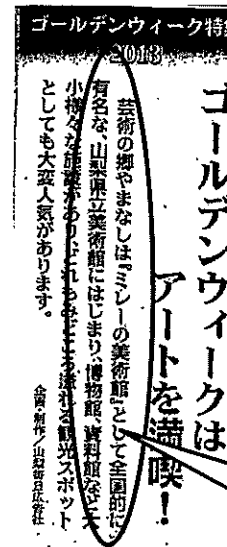
指定管理者活動トピックス ～平成25年1月以降～
【1-⑤】来館者獲得に向けて

●ミレーの美術館のPR

山梨県立美術館＝「ミレーの美術館」というイメージを定着させるために、媒体での広告や、屋外広告において、「ミレーの美術館」というフレーズを前面に打ち出して広報



山交百貨店の屋外広告も刷新



山梨県立美術館
別名「ミレーの美術館」、19世紀フランスの画家ジャン＝フランソワ・ミレーを中心に、日本屈指のパルナゾン派のコレクションが多数。代表作《種をまく人》は教科書でもおなじみの名作。山梨ゆかりの画家や日本広域代美術も収蔵。
☎055-228-3322

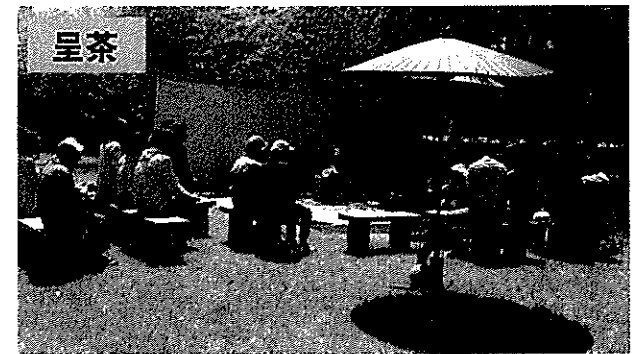
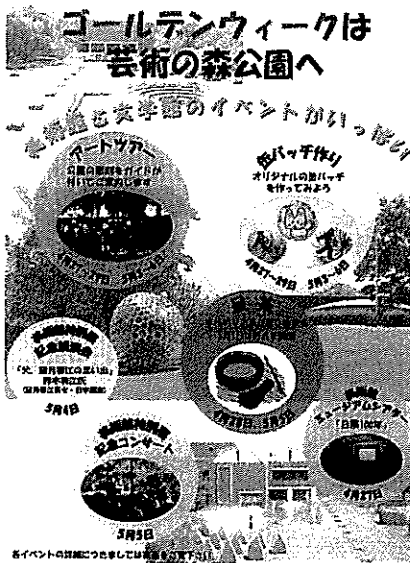
新聞等でも「ミレーの美術館」として紹介されるまでに浸透

5

指定管理者活動トピックス ～平成25年1月以降～
【2-①】賑わいの創出

自主企画事業

GWイベント (4/27～5/6)



GW期間中に実施した呈茶は初の野点にて開催。開始から約1時間で150名の定員に達し、急遽50名分追加したものの、約30分で終了！お客様からも好評で、予想以上の賑わいを創出！

アートツアー (4/27～6/30)



美術館だけに留まらず、文学館・芸術の森公園を含めた施設全体の賑わいを創出し、相乗効果を生み出す

7

指定管理者活動トピックス ～平成25年1月以降～
【1-⑥】来館者獲得に向けて

従来の顧客層以外の開拓を図るため、既存の媒体以外へもリリース配信先を拡大するなど、積極的にアプローチ。週刊誌やファッション誌など、新たな媒体に取り上げられるきっかけとした



学術文化財課を通し記者クラブへ配信していたリリース配信を情報の種類によっては、直接マスメディアの担当者宛に送付するよう変更。今まで培った関係性を活かし、顔の見える広報活動をすることで、より記事化に繋がるよう工夫

※掲載依頼件数(雑誌、旅行誌、ツアーパンフ等)
平成24年度 掲載依頼130件 (前年比+38件)

6

指定管理者活動トピックス ～平成25年1月以降～
【2-②】賑わいの創出

●特別展記念コンサートの開催

「十一屋コレクション名品展」
記念コンサート(1/12)



「望月春江展」記念
コンサート(5/5)



「ハーグ派展」記念
コンサート(8/4)



特別展の開催を盛り上げると共に特別展の観覧を促進

8

指定管理者活動トピックス ～平成25年1月以降～
【3】ホスピタリティデザインへ向け

「監視のプロ集団になる」を目標に掲げ、「対話力」「寄り添い力」をコンセプトに研修

- 3/25 作家勉強会、「価値観ワーク」
- 4/22 平成24年度活動報告及び平成25年度事業計画共有、文学館施設勉強会
- 7/8 デザイン思考を通じた来館者獲得へのアイデアだし

※7月のスタッフ研修の取り組み

山梨県民であり、日頃お客様に一番接しているスタッフの意見を、賑わい創出に向けた広報活動に取り入れていくために、来館者獲得のためのアイデアだしを全員で実施。



スタッフの思いをしっかりと受け止め、運営に反映

9

指定管理者活動トピックス ～平成25年1月以降～
【4】施設の維持管理

①光熱費節減対策

- 節電への継続した取り組み
事務室の空調管理の徹底・蛍光灯の間引き・池の水入れ中止
- 灯油の新規取引先開拓
現在4社で実施している見積り合せを、5社での見積り合せにすることで灯油単価を抑制

②喫茶室の衛生管理

- サントリーグループのノウハウを活用した衛生管理検査等、共同事業体一丸となって安心安全な運営を実施

③植栽管理

- 近隣住民からの要望にこたえ、指定管理職員と設備担当で剪定作業を実施。定期作業でカバーできない範囲にも対応

10

指定管理者活動トピックス ～平成25年1月以降～
【5】下半期の活動予定

●美術館オリジナルポスター作成

美術館のイメージを更に浸透させるために、美術館のオリジナルポスターを作成し、県内を中心に掲示依頼

●無料シャトルバスの運行

秋の行楽シーズンにあわせ、9～11月の日曜日、11月20日（県民の日）にシャトルバスを運行



●特別展記念コンサートの継続

「日本のわざと美展」 雅楽をお楽しみいただきます（9/23）、
「動物図鑑展」（12月を予定）

11

県立美術館、文学館及び芸術の森公園
に係る指定管理について

指定管理者選定スケジュール

○ 指定管理募集の概要

対象施設：美術館、文学館及び芸術の森公園

対象業務：管理部門のみ（学芸部門は直営）

- 貸館業務
- 使用料及び観覧料の収納・管理業務
- 総合案内及び展覧会受付・監視業務
- 広報・利用促進業務
- 施設・設備の維持管理業務
- レストラン等飲食提供施設の運營業務など

契約期間：平成26年4月1日～平成31年3月31日 5年間（予定）
県議会議決後確定

◇ 指定管理制度導入と満足度の推移（十分との回答の割合）

	H20	H21	H22	H23
サービスの内容	72.7	78.4	82.5	81.7
施設設備の整備状況	80.4	84.1	87.6	88.0

時 期			項 目
25年度	6月	～8月19日(月)	募集要項の配付
	7月	～8月9日(金)	募集要項等に係る質問の受付・回答
	8月	12日(月) ～20日(火)	申請書類の受付
		～30日(金)	一次(資格要件等)審査及び結果通知
	9月	～10月上旬	二次(選定委員による書類審査及びヒアリング)審査及び選定結果通知
	10月	上旬 ～中旬	選定団体との協議
	12月	下旬	12月県議会において指定管理者の指定等の議決
	1月	上旬	基本協定書締結
26年度	4月	1日(火)	指定管理者による業務開始

